

## ■明日から夏休み



明日から夏休みになりますが、学習面、生活面、部活動など、1学期の反省をしっかりとしてみましょう。特に3年生諸君は、基本的に1年生のときからこの3年の1学期までの成績が進学・就職を問わず、志望校や志望企業に送られていくこととなります。大学や短大を推薦(指定校制や公募制など)で受験することを希望している諸君は、絶対的な条件の1つに評定平均値がありますので気にかかっていることと思います。今月上旬、3学年の各クラスに指定校推薦の一覧表を配付しましたが、もし志望校の条件に届かなかった場合には、総合型入試などで受験していくしかありませんので、この夏休みを利用してしっかりと準備するようにしましょう。

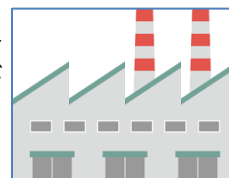
1年生から3年生まで夏期講習や部活動などで毎日忙しく過ごしていく人も多くいることと思いますが、ほとんど学校に登校することなくだらだらと(?) 過ごしてしまう人もいるかもしれません。特に後者に該当しそうな人はきっちりと計画を立てるところまでは求めませんが、毎日少しでも学習(夏休みの宿題や1学期の復習)に取り組み、また「夏休み中にこれだけは実行する!」という目標を持って生活してみましょう。後で振り返ったときに、「何の实りもない夏休みだった・・・」ということにならないようにしてほしいものです。

各大学・専門学校のオープンキャンパスも夏休み中に開催されます。今年度はコロナ禍で、リモートでのオープンキャンパスが多くなるかもしれませんし、人数制限もあるものと思われます。よく確認して参加するようにしましょう。

なお、夏季休業中、進路指導室は基本的に開放しています。教員の在不在については入口に示しておきますので確認してください。では、2学期の始業式の際には、元気に登校してくることを期待しています。

## ■就職希望者に対するガイダンスを実施

7月6日(火)1校時のLHRの時間を使って、就職希望者に対するガイダンスを実施しました。まず、欠席・遅刻・早退が多いと書類審査で落とされる可能性が高いですから、1年から3年1学期までの自分の数字をよく確認しておきましょう。



求人票については、7月6日(火)の昼休みから閲覧できるようにし、連日、希望の業種・職種を探しに進路指導室に足を運んでいる生徒が多くいます。ガイダンスでも話しましたが、夏休み中に、ぜひ複数の企業の職場見学をさせていただくようにしましょう。2学期開始後すぐに就職試験の応募が始まります。この夏休み中に少しでも準備を進めておくようにしてください。

## ■ 日本学生支援機構・奨学金について



日本学生支援機構・奨学金の予約採用の申込み（3年生のみ）について、第2回目は7月13日（火）までに「確認書」等、必要書類の発送を済ませました。第3回目での申込みは、「確認書」の点検を7月14日（水）までに済ませ、遅くとも7月26日（月）までに入力作業を進めてもらう予定であります。ここ数年、何らかの変更点があり、保護者の皆様にはご迷惑をお掛けした部分もあったかと存じます。今後、第3回目で希望した生徒の書類発送、学校側での必要事項の入力を終わると申込み手続きが完了となります（※第3回目で申し込んだ人は遅くとも7月中にマイナンバー関係書類の提出を済ませてください）。第2回目の結果通知は11月下旬、第3回目の結果通知は12月下旬ごろまでに届く予定です。

## ■ 大学・短大の指定校推薦について

7月15日（木）までに本校に届いた大学・短大の「指定校推薦一覧表（第2版）」を各クラスに配付しました。指定校推薦については、昨年度から評定平均値だけでなく、何らかの形で学力をチェックされるようになりました。多くは小論文が課されるという形ですが、中にはプレゼンテーションをしなければならないケースもあつたりします。入試内容について、進路指導室で保管している各校の要項でよく確認しておきましょう。以下に指定校推薦をいただいている大学と短大の名前を記しますので、確認してください。ただし、大学や短期大学名の記載があるとしても、東日本国際大学やいわき短期大学の学部・学科と重複している場合は、受験できないケースがありますので、注意してください。なお、専門学校指定校推薦の一覧表は特に作成しませんが、どこの学校の指定校が来ているか確認したい場合には進路指導室に来室して要項を閲覧してください。



1・2年生のみなさんは、参考程度に確認してください。次年度以降も同じ大学・短大から今年度とまったく同じ条件で指定校推薦の枠をいただけるとは限りませんので、注意してください。

【指定校推薦枠をいただいている大学・短大（学部・学科、評定平均値等は省略）7月15日現在】五十音順

- [四大] 青森中央学院大学 足利大学 石巻専修大学 茨城キリスト教大学 医療創生大学 浦和大学  
江戸川大学 開智国際大学 神奈川工科大学 亀田医療大学 川村学園女子大学 関東学院大学  
共栄大学 神戸医療福祉大学 郡山女子大学 駒沢女子大学 埼玉学園大学 埼玉工業大学  
相模女子大学 作新学院大学 札幌大学 秀明大学 淑徳大学 尚絅学院大学 城西大学  
城西国際大学 尚美学園大学 駿河台大学 聖学院大学 聖徳大学 大正大学 太成学院大学  
拓殖大学 多摩大学 千葉科学大学 千葉工業大学 千葉商科大学 中央学院大学 つくば国際大学  
帝京大学 桐蔭横浜大学 東京医療学院大学 東京工芸大学 東京情報大学 東京女子体育大学  
東京成徳大学 東京電機大学 東京農業大学 東京福祉大学 東京保健医療専門職大学  
東京未来大学 東北学院大学 東北工業大学 東北文化学園大学 東洋英和女学院大学  
東洋学園大学 常磐大学 新潟医療福祉大学 新潟食料農業大学 新潟薬科大学 日本大学工学部  
日本工業大学 日本福祉大学 日本文化大学 日本薬科大学 人間環境大学 人間総合科学大学  
八戸工業大学 東日本国際大学 文教大学 文星芸術大学 別府大学 北翔大学 北海道文教大学  
宮城学院女子大学 武蔵野学院大学 ものつくり大学 山梨英和大学 稚内北星学園大学
- [短大] 育英短期大学 いわき短期大学 川口短期大学 国際短期大学 埼玉女子短期大学  
佐野日本大学短期大学 上智大学短期大学部 聖徳大学短期大学部 高崎商科大学短期大学部  
東京女子体育短期大学 東京立正短期大学 函館短期大学 福島学院大学短期大学部  
北翔大学短期大学部

## ■ 教育実習生にインタビュー



5月31日(月)から6月19日(土)までの3週間、本校で教育実習をされた鈴木一郎先生(英語)、小泉凱斗先生(英語)、永山晃暉先生(保健体育)の3名にインタビューしました。3名とも本校の卒業生です。ぜひ参考にしてください。

Q1 教師を目指そうとした理由、もしくは教育実習をしてみたの感想は？

鈴木：小学5、6年生の時の担任の先生に憧れ、教師を目指しました。小学6年生の時に中学入試を経験し、周りとは違う生活を送っていました。その先生には、入試の指導を休み時間や放課後など、指導して頂きました。教育に対する情熱や使命感に惹かれました。

小泉：ブダベスト日本人学校(ハンガリー)の先生のお陰で、学校や英語が好きになったため、私も学校の楽しさや英語のおもしろさを伝えたいと思ったからです。

永山：同じ単元の授業をしても、クラスによって反応や雰囲気は全く異なり、最初は焦りました。それでも前向きに授業に取り組んでくれる生徒がたくさんいて助かりました。教育実習で授業をつくることの大変さ、先生方のすごさを痛感しました。

Q2 昌平高校生のころの思い出は？

鈴木：昌平中学校から昌平高校の特進コースと、中高合わせて6年間お世話になりました。高校では、毎日7時間の授業に加え、課外授業にも参加しました。部活動は高校から吹奏楽を始め、3年間所属しました。勉強と部活を両立し、充実した3年間になりました。

小泉：部活動は何もしていなかったため、2、3年生の時は放課後に英語科の先生にお願いして英検対策や大学受験対策をしていただいていたので、7時間目の後でお腹が減ってしまうので、よく自販機でハンバーガーを買って食べていました。一番の思い出は、クラスメイトと球技大会に向けて毎日のように放課後にバスケットボールをやったことです。

永山：特別進学コースに通いながら、体操部に入部していたので、勉強と部活の両立をしていました。特に部活動に力を入れていたので、たまにしか遊んでいませんでした。その甲斐あって、体操が全国上位の大学からお誘いをいただき、進学することができました。

Q3 大学生活を振り返ってみて、印象に残っていることは？

鈴木：大学2年の春休みにイギリスに行きました。大学では英米文学、英米文化専門のゼミに所属しているため、実際にイギリス文化を見て、肌で感じたいと思いました。大英博物館、セントポール大聖堂、シェイクスピアの生家などの名所に行き、イギリス文学や文化に対する理解が深まりました。

小泉：学園祭が一番の思い出です。私は高校3年の文化祭の当日がAO入試と重なり参加できず、悔しい思いをしたため、大学では楽しもうと思い、学園祭を企画・運営する学友会という組織に参加しました。学園祭当日も楽しめましたが、準備期間中に仲間と一緒に作業する時間が一番楽しかったです。

永山：大学へ進み、親元から離れたことで、自由になることができましたが、身の回りのこともすべて自分で行わなければならなくなりました。洗濯や食事を作ることなど大変さを知り、家族全員分やっている母親の偉大さに気づきました。

Q4 後輩のみなさんにアドバイスがあるとすれば？

鈴木：私は中学・高校と英語に苦手意識を持っていました。しかし、大学入学後、英語の本を読んでみたい、海外に行ってみてみたいといった理由で英語を専攻し、不得意を克服しました。在校生の皆さんも苦手な教科があると思います。しかし、それが将来の自分につながることもあります。苦手な教科もあきらめずに挑戦してください。

小泉：中学校の卒業式の日、3年間あっという間だったと感じた人は多いと思います。高校の卒業式の日も同じように感じると思います。今過ごしている1日、1日を大切に生活してほしいと思います。

永山：今、当たり前のように学校へ通い、生活できていることに感謝し、目標をもって学校生活を送ってください。

## ■ 吉田誠夫先生、死去の報に接して



先月、開校当初から10年間にわたって本校で教鞭をとられ、12年前に退職された吉田誠夫（よしだ・のぶお）先生が78歳で亡くなられたという知らせを受けました。吉田先生は国語科の先生で、「これはぜひ中高生に読んでほしい」という作品を集め、独自の教材を作成して生徒たちの国語力の向上を図ろうとされただけでなく、さまざまな「武勇伝」を本校に残していかれ、筆者にとっても印象深い先生です。みなさんとは直接関わりはありませんでしたが、開校当初の様子も含めてお伝えしたいと思います。

吉田先生は長年、東京の芝浦工業大学附属中学高等学校で教鞭をとって来られました。本校の初代校長で、以前に芝浦工業大学附属中学高等学校で校長をされていた伊尻政一先生が、本校の校長に就任することになった際に、同校で同僚だったベテランの先生方に、「福島県で初めてとなる中高一貫校を立ち上げることになったので、ぜひお手伝い願いたい」と本校への赴任を依頼されたそうです。その中のお一人が吉田先生でした。

開校当初は、伊尻校長をはじめ、吉田先生のように東京方面から来られている先生や若い先生方が、現在県内外出身の野球部の生徒などが多数生活している石名坂寮に入っておられました。そこで、昌平中学の生徒を中心に夜、通称「寮勉」といわれる寮で学習する時間がありました。吉田先生も寮勉を担当されることがあり、熱心に生徒たちに遅くまで指導しておられました。

寮にお住いの先生方は、寮勉の後にお酒を共にする時間があり、若い先生方が吉田先生の部屋に集まるなどして和やかな時間を過ごしていました。筆者は寮に住んでいたわけではありませんが、時折お誘いを受け、吉田先生の部屋にお邪魔しました。本棚だけでなく、部屋中に本があふれていたことが特に印象に残っています。中には相当高価な本もあるとおっしゃっていました。東京の自宅に本が収まりきれないために、近所にマンションを買って本を収蔵しているとも話されていて、中学や高校の国語科教師というよりは、大学教員といった「学者肌の強い先生」という印象が強くあります。ちなみに、筆者が本校に赴任したばかりの頃には、このお酒を共にする時間を通して、筆者と黒澤亮人先生、徳田崇史先生（※生まれが早い順）の3名が同じ学年であることが分かるなど、先生方同士、お互いの共通点なども分かるようになっていきました。

近年は年賀状のみでのやり取りとなっていました。吉田先生の文面には、「いわきに遊びに行きたい」といったことが書かれていることが多くあったように記憶しています。今年の1月にいただいた年賀状には、「コロナで身動きが取れませんが、終息したら遊びに行きます」とありました。筆者も東京在住時に中央・総武線沿線に住んでいたことがあり、その沿線にお住いの吉田先生をお訪ねしたいとずっと思っていたのですが、結局、それは叶いませんでした。

筆者は今年度で本校に勤務して20年目になりましたが、開校して間もない頃から本校に勤務されている先生方にとって、吉田先生の訃報は残念であるとともに、若かりし頃の自分を思い出す機会にもなったものと思われます。お酒を酌み交わしながら、さまざまなことをご存じである吉田先生のユニークな話にもう1度、耳を傾けたかったと思っているのは私だけではないでしょう。本校をより良い学校にしていくために、教師、生徒を問わず、みんなで力を合わせていくことを吉田先生も望んでおられると思います。合掌

文責：清水聖（進路指導主事）